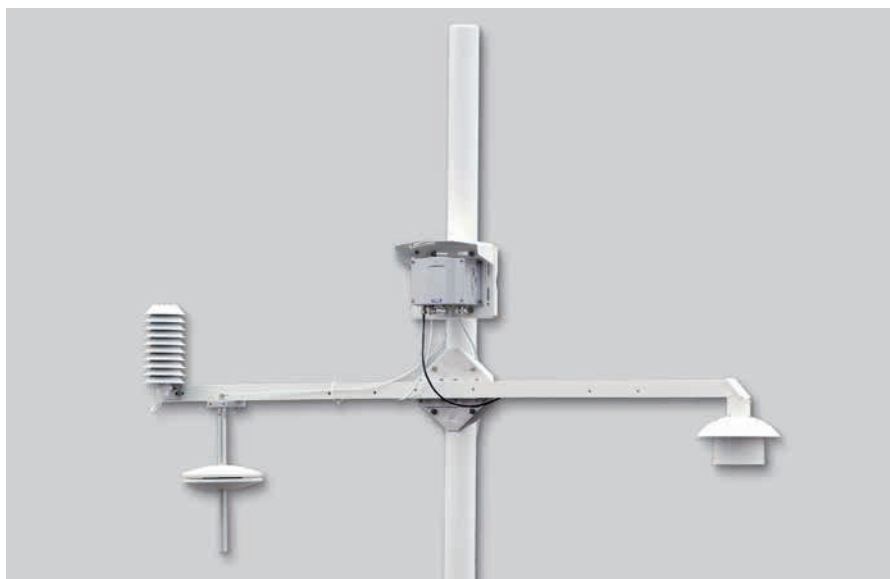


HMT330MIK 気象観測用設置キット



HMT337およびPTU307は加温プローブ技術を採用しています。HMT330MIKキットに取り付けて使用すれば、高湿度の気象条件下で信頼性の高い湿度計測が可能です。

特長

- 屋外の湿度/温度計測用
- さまざまな構成を選択可能
- HMT337変換器およびPTU307変換器に対応
- ヴァイサラ屋外気圧取り入れ口SPH10/20が風による気圧計の誤差を効果的に抑制

HMT337/PTU307の特長

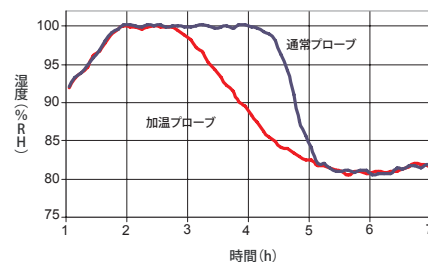
- 結露しやすい環境でも正確な湿度計測が可能な加温プローブ
- 湿度計測では相対湿度や露点温度を表示
- ハンディタイプHM70を使えば現場校正も容易

ヴァイサラ気象観測用設置キットHMT330MIKは、ヴァイサラHUMICAP®湿度温度変換器HMT337を屋外に設置し、気象観測において正確な計測を行うためのキットです。

結露しやすい環境での正確な湿度測定

気象観測では、結露の発生は信頼性の高い湿度計測を困難にします。湿度センサに結露が生じると、水分が蒸発するまでは正確な計測値を得ることができません。

PTU307とHMT337では、プローブを加温することでこの問題を回避しています。プローブを加温すると、プローブ内の相対湿度が周囲湿度よりも低い状態に保たれます。加温プローブで露点を、追加プローブで周囲温度をそれぞれ計測し、変換器で露点温度と気温から周囲の相対湿度を算出することができます。



100%の相対湿度が続いた後でも、加温プローブなら正確な湿度計測が可能ですが、非加温プローブでは結露からの回復に時間がかかります。

開放型シールドにより外気との誤差の発生を防ぐ

従来のラジエーションシールドでは、シールド表面にみぞれや雪が付着してシールドへの適度な外気循環が妨げられることがあるため、付着物が融けるまでの間、高湿度雰囲気の原因になっていました。しかし、HMT337/PTU307の加温プローブは、底面開放型のシールドに設置されるため、無風時にも安定的に外気を計測できます。

クリティカルな気象観測に不可欠

湿度の正確な計測値は、道路だけでなく空港や海上も含む交通安全などにおいて特に重要な役割を果たしており、霧や霜の予測には欠かすことができないものです。

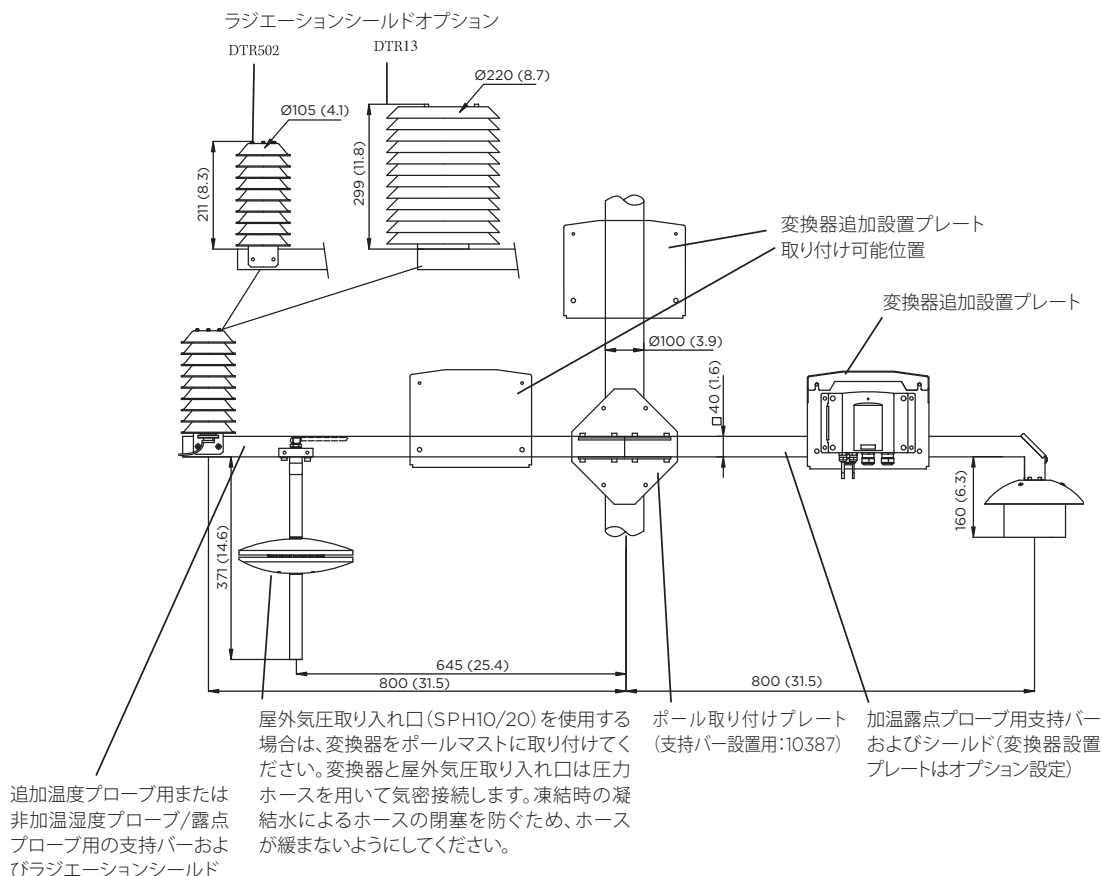


校正の際は、HMT337またはPTU307プローブの横に、ハンディタイプ基準プローブHMP77を簡単に取り付けられます。

技術情報

寸法

単位:mm(インチ)



オーダーフォーム

ヴァイサラ気象観測用設置キット		HMT330MIK			
加温露点プローブ用支持バーおよびシールド	加温露点プローブ用支持バーおよびシールドなし	0			
	加温露点プローブ用支持バー、変換器設置プレート、シールド	1			
追加温度プローブ用または非加温湿度プローブ/露点プローブ用支持バーおよびラジエーションシールド	支持バーおよびラジエーションシールドなし		A		
	温度プローブ用DTR502シールド付き支持バー		B		
	温度プローブ用DTR13シールド付き支持バー		C		
	非加温RHプローブ/露点プローブ用DTR502シールド付き支持バー		D		
	非加温RHプローブ/露点プローブ用DTR13シールド付き支持バー		E		
支持バー設置プレート	設置プレートなし	0			
	ポール取り付けプレート (支持バー設置用:10387)	1			
変換器追加設置プレート (レインシールド含む)	変換器追加設置プレートなし		A		
	変換器設置プレート (支持バー組み立て用)		B		
	変換器設置プレート (ポール組み立て用)		C		
屋外気圧取り入れ口	屋外気圧取り入れ口なし				0
	屋外気圧取り入れ口SPH10 (PTU300のみ)				1

HUMICAP®はヴァイサラ社の登録商標です。

VAISALA

www.vaisala.co.jp

詳細は以下よりお問い合わせください。
www.vaisala.co.jp/contact

Ref. B210944JA-D ©Vaisala 2015

本カタログに掲載される情報は、ヴァイサラと協力会社の著作権法、各種条約及びその他の法律で保護されています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用(複製、送信、頒布、保管等を含む)をすることは、事前に当社の文書による許諾がないかぎり、禁止します。仕様は予告なく変更されることがあります。本カタログは英文カタログの翻訳版です。翻訳言語に不明瞭な記述が発生する場合は、原文である英文カタログの内容が優先されます。

